



・発行・者  
・都障害者  
・京ポ一ッ  
・振興会

題字 芝田 徳造

全国障害児体育研究連絡協議会春の学習会

芝田徳造顧問の講演要旨 (3)

「私たちがなぜ障害児者にスポーツ(身体運動)を保障しようと考えたか」からへ3

スポーツへ込める障害児者のねがい

「人間的平等のねがい」

障害者のスポーツ権

第1条1項 「体育スポー

ツの実践は、すべての人に

とって基本的権利である」

「日本・スポーツ基本法」

(2011年6月成立)

2条(基本通念5)スポー

ツは障害者が自主的かつ

積極的にスポーツを行う

ことができるよう、障害の

種類及び程度に応じた必

要に配慮をしつつ推進し

なければならない。

12条2項(スポーツ施設の

整備)で障害者への特別な

配慮を明記

「障害の克服へのねがい」

世界に広がるノーマライゼーション運動(「共に生きる」世界的運動)

1950年代デンマークのバンク・ミケルセンが提唱、スウェーデンのニルジエが体系化

基本的理念

「一つの社会には、一定数の子供・老人・病人・妊婦・障害者など(社会的に弱い立場の人)が存在するのが当たり前である。これらの人々と健康な市民が共存する社会こそ、健全で強靱な社会である」障害者などを閉め出す社会は弱くてもろい社会である。

ノーマライゼーションの必要な理由

障害児者の問題は他人事ではない。誰もがいつ障害者になるかわからない。スポーツ活動はノーマライゼーション推進の最適の場を提供する。平成22年交通事故で90万人、労働災害で11万人が負傷、毎年約百万人が負傷、日本人の3人に1人が脳卒中の可能

性。誰もがいつ障害児の親や家族になるかわからない。障害者スポーツをすすめるに当たつての留意点

・むずかしく考えない

「特殊」なものではなく、一般国民のものと本質は同じ、器具・ルールの工夫が必要である。

・スポーツを 競技 と狭く理解しない

身体運動全般、たとえば指一本 動かしただけでもスポーツ。まずからだを動かすこと、「楽しむ」ことから始めるべきである

・重度・軽度を対立的に考えない

重度障害児者は介助を受けながら簡単な運動を、軽度障害児者は競技性のあるものを、中度の障害児者はその両面から可能性を追求する

(裏面へ)



行事予定	2月	11(火・祝)	雪あそびのつどい	花背山の家	来月のつどいは第486回  3 / 16  第3日曜日
			丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園	
		16(日)	259回障害者水泳のつどい	伏見港公園プール	
		22(土)	平成25年度京都市ゆうあいボウリング大会	MK ボウル(予定)	
	3月	23(日)	城陽障害者スポーツのつどい	サン・アビリティーズ城陽	
		2(日)	第31回視覚障害者京都マラソン大会	京都市西京極陸上競技場周辺	
	11(火)	丹波障害者のスポーツのつどい	丹波自然運動公園		
京都障害者スポーツ振興会ホームページ TEL/FAX075-712-7010 <a href="http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/">http://web.kyoto-inet.or.jp/people/spo-shin/</a> (2014年1月26日に一部更新)					

(表面より)

・障害児者や家族の心理にも十分気を配って

外へ出たがらないのは、永い差別の反映でもある。また中途障害者は、障害の受容ができていないことが大きな原因であること

を理解し、まず外へ出すことから始める。  
・ノーマライゼーションを

焦ってはいけない  
まず障害児者と家族だけの行事(＋ボランティア) 障害児者とボランティアがスポーツを共有  
一般市民と障害児者がスポーツ共有(区民運動会など) 最終的には『国民体育大会』と『全国障害者スポーツ大会』と統合へ(障害児者も同じ『国民』だから当然と考えられる)

(平成25年3月23日に全国障害児体育研究連絡協議会「春の学習会」で講演された要旨を3回に分けて紹介しました。機会があれば講演テープを整理して詳細を小冊子にしたいと思っております)

「スポーツのつどい」ニュース

△府立体育館△

府立体育館の障害者スポーツのつどいが来年には500回を迎えます。1月から少しずつ準備を始めることになりました。今月は水谷会長からつどいを開催した経過や40数年間の経過や参加者や家族の思いなどを話された。他の出席していたスタッフから前回の450回の反省として、各50回の記念大会を踏襲するだけのものとしめない。装飾の簡素化やプログラムが開催前夜決まったので、もっと早く決めないといけないなどの意見が出されました。

△水泳のつどい△

台風で施設が水没し休止しています。所長から「地下や1階にある施設を水没の危険性を回避するため、地上に移せる機械設備を全て高い場所に移すための基本設計が行われています。今後予算確保されています。今後予算確保

保・詳細な設計・施工などで再開時期はまだ明言できない。今年度中の再開は不可能かも知れない。」と聞きました。今後も事務室で卓球バレーや春から屋外での活動も行いながら、9月ぐらいに太陽が丘の温水プールを使用して水泳のつどいが出来ないか検討しています。

卓球バレー

平成25年主な大会結果

第7回京都障害者施設卓球バレー大会兼

全国交流会  
5月12日 京都市障害者教養文化・体育会館 16チーム  
140名参加

(各ゾーン1位2位3位の順)

Aゾーン

ひまわりB

西陣工房B

洛南A

Bゾーン

京都太陽の家

AKBスターズ

ひつじの苑舞鶴

Cゾーン

洛南B

あしたーる工房ほのぼのA

あしたーる工房ほのぼのB

第33回全京都障害者

総合スポーツ大会

卓球バレー大会の部

6月16日 京都府立体育館

79チーム参加

(1位2位3位の順)

一般の部(48チーム)

かわせみ

京田辺ウララ

向日市A

施設の部(18チーム)

西陣工房A

みぶつくし

西陣工房B

学校の部

鳴滝エイト

チーム白河

東タイガース

第36回京都府民総合体育大会

種目別交流大会

10月20日 京都市障害者教養文化・体育会館 27チーム

出場

(1位2位3位の順)

京田辺

やまぶき

やまぶき

やまぶき

第22回

ふれあい卓球バレー大会

12月1日 京都市障害者スポーツセンター 38チーム

出場

(1位2位3位の順)

一般の部(22チーム出場)

虹の会A

中京区B

太陽クラブ

施設の部(8チーム)

西陣工房A

西陣工房B

山科ロピンス

学校の部(16チーム)

パンプファイターズ

イーストサンライズ

イーストドラゴン

平成25年度

ゆうあいボウリング大会

平成26年1月18日 サンケイボウル(福知山)

(各組1位)

男子

荒河圭澄

林 大智

尾松正太

岸田健一

大坂裕司

女子

斉藤奈月

山崎理恵

吉田美沙緒

171点

231点

175点

136点

182点

232点

73点

78点

71点